

南アメリカ・オセアニア 州プリント

名前

- 問1 世界の農産物生産割合（2023年）をまとめた統計において、大豆の生産シェアが世界の51.7%と過半数を占めている地域はどこですか。この地域では、ブラジルやアルゼンチンを中心に、世界的な需要に応えるため大規模な農地開発が進められています。（2026年 福岡県公立入試 類似）
1. アフリカ州 2. 南アメリカ州 3. アジア州 4. 北アメリカ州
- 問2 南アメリカ大陸のチリ中部に位置する都市サンティアゴの気候の特徴について、正しい説明を述べているものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. 大陸北部の低緯度地帯に位置し、一年中気温が高いが、雨季と乾季がはっきりと分かれるサバナ気候に属している。 2. 南回歸線付近の大陸東岸に位置し、1月頃の夏に降水量が多く、一年を通じて温暖な温暖湿潤気候に属している。 3. 赤道直下に位置するため一年を通じて高温多雨であり、季節による降水量の変化がほとんどない熱帯雨林気候に属している。 4. 南半球の中緯度に位置し、1月頃の夏に乾燥し、7月頃の冬に雨が降る地中海性気候に属している。
- 問3 日本とニュージーランドの月別平均気温を比較すると、一方が高い時期に他方が低くなるという、正反対の変化が見られます。このような地理的特徴を活かした、日本によるニュージーランドからのかぼちゃの輸入に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. 日本でかぼちゃが大量に収穫される夏から秋にかけて、価格を抑えるためにニュージーランドからも同時に輸入している。 2. 日本とニュージーランドには大きな時差があるため、輸送中の鮮度劣化を防げるという利点を活かして輸入している。 3. 日本でかぼちゃの収穫が困難な冬から春にかけて、季節が逆で収穫期にあたるニュージーランドから輸入している。 4. ニュージーランドは赤道直下に位置し一年中気温が高いため、日本の収穫時期に関わらず毎月一定量を輸入している。
- 問4 2022年の統計によると、オーストラリアの輸出相手先は中国が約29%、日本が約19%、韓国が約8%を占めており、特定の地域に向けた輸出が全体の過半数を超えています。現在のオーストラリアにとって、最も主要な貿易相手となっている地域を次の中から選びなさい。（2026年 秋田県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ諸国 2. アフリカ諸国 3. アジア諸国 4. 北アメリカ諸国
- 問5 南アメリカのアンデス山脈沿いに位置する都市において、月平均気温の推移が「年間を通して10度から15度の間で横ばい」となり、降水量は5月から8月の冬にあたる時期に少なく、夏に多くなるという特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 赤道直下の低地であり、強い日射によって一年中気温が高く上昇気流が発達するから。 2. 高緯度の寒冷な地域に位置しており、偏西風の影響を強く受けているから。 3. 低緯度の赤道付近に位置しながら標高が高いため、涼しい状態が一定して続くから。 4. 内陸の盆地に位置しており、夏と冬の気温の差が非常に大きくなるから。
- 問6 オセアニア州に属する多くの島国では、近年の地球温暖化に伴う海面上昇によって、国土が水没の危機にさらされるなど深刻な影響を受けています。このような地理的背景をもつオセアニア州の概要として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. ユーラシア大陸の西側に位置し、地中海を囲むようにして多くの国々が隣接している。 2. 赤道を挟んで北半球に位置し、世界で最も人口が密集している州である。 3. 広大なアマゾン川流域の熱帯雨林を抱え、アンデス山脈が縦断している。 4. 六つの州の中で最も陸地面積が小さく、多くのサンゴ礁の島々や火山島が含まれる。
- 問7 ブラジルの農業において、近年、世界市場での存在感が高まっている大豆の生産背景を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 都市近郊の限られた土地に化学肥料を大量に投入し、集約的な農業を行ったため 2. 伝統的な焼畑農業を大規模に継続し、自然のサイクルのみで生産量を増やしたため 3. 小規模な農家が協力し合い、すべて手作業で高品質な作物を生産しているため 4. 広大な土地に大型の農業機械を導入することで、大規模な生産体制を確立したため
- 問8 ブラジルの農産物生産統計において、2006年には約4億7741万トンであったある農作物の生産量が、2010年には約7億1746万トンへと短期間で大幅に増加しました。この農作物は、自動車などの燃料として利用されるバイオ燃料の原料となりますが、この農作物の名称として正しいものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）
1. バナナ 2. コーヒー豆 3. オレンジ 4. さとうきび
- 問9 南アメリカ大陸の広大な国土を持つブラジルにおいて、沿岸部に集中していた人口や産業を分散させ、内陸部の開発を促進する目的で1960年に新たに建設された首都はどこですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
1. ブエノスアイレス 2. サンパウロ 3. リオデジャネイロ 4. ブラジリア
- 問10 オーストラリアの産業の分布について述べた次の記述のうち、大陸の北部から東部、および内陸部にかけて広く行われている農業と、大陸北西部の沿岸付近に主要な産出地が集中している地下資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）
1. 羊の飼育と石炭 2. 米の栽培とボーキサイト 3. 牛の放牧と鉄鉱石 4. 小麦の栽培と銅
- 問11 1960年代のブラジルにおける輸出総額の品目別割合を見ると、コーヒー豆などの特定の農産物が輸出の大部分を占めていました。このように、特定の農産物や鉱産資源の生産と輸出に国の経済が過度に依存している状態を何といいますか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. プランテーション 2. 多角経営 3. 混合農業 4. モノカルチャー経済
- 問12 チリの輸出総額は、1993年の約92億ドルから2017年には約692億ドルへと大幅に増加しました。この期間の輸出相手国の変化について、1993年と2017年の状況を比較して説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
1. 経済発展に伴い国内消費が増えたため、輸出総額は増えたものの輸出相手国の顔ぶれに変化は見られなかった。 2. 輸出総額が激増する中で、中国、日本、韓国といったアジア諸国が主要な輸出先としての地位を確立した。 3. アジア州の国々への輸出が伸び悩み、代わりに南アメリカ州内での近隣諸国との貿易が中心となった。 4. 輸出総額の増加に伴い、アメリカ合衆国の占める割合が首位を維持し続け、独占状態が強まった。
- 問13 世界の諸地域の農業・環境に関する統計において、森林面積の減少幅が約1980万ヘクタールに達しており、他の州と比較して圧倒的に森林が失われている地域があります。また、この地域は世界の穀物生産の約7パーセントを占める特徴も持っています。この統計が示している州として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2026年 秋田県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ州 2. アフリカ州 3. 南アメリカ州 4. オセアニア州

答え合わせ・解説

問1	答え 2 南アメリカ州	南アメリカ州、特にブラジルやアルゼンチンでは大豆の生産が非常に盛んであり、世界全体の生産量の半分以上を占めています。一方、カカオ豆のシェアが6割を超えるのはアフリカ州であり、統計資料を読み解く際は、作物ごとの主要な生産地域を区別して理解することが重要です。
問2	答え 4 南半球の中緯度に位置し、1月頃の夏に乾燥し、7月頃の冬に雨が降る地中海性気候に属している。	サンティアゴは南半球の中緯度、大陸の西岸に位置しており、地中海性気候に分類されます。この気候区では、夏にあたる1月前後に亜熱帯高圧帯の影響を受けて乾燥し、冬にあたる7月前後に温帯低気圧や前線の影響を受けて雨が降るという、夏と冬で降水分布が逆転する明確な特色が見られます。
問3	答え 3 日本でかぼちゃの収穫が困難な冬から春にかけて、季節が逆で収穫期にあたるニュージーランドから輸入している。	日本が位置する北半球と、ニュージーランドが位置する南半球では、季節が正反対になります。この「季節の逆転」を利用すると、日本が冬の時期に南半球のニュージーランドは夏から秋の収穫期を迎えることになります。日本で国内産のかぼちゃが品不足になる時期に、ちょうど収穫期となるニュージーランドから輸入することで、一年を通じて安定的に農産物を供給できるという補完的な貿易関係が築かれています。時差や赤道直下の気候は、この貿易の主な理由ではありません。
問4	答え 3 アジア諸国	オーストラリアはかつて宗主国であるイギリスをはじめとしたヨーロッパ諸国との貿易が中心でしたが、1960年代以降、地理的な距離の近さを重視する政策へと転換しました。その結果、急速な経済成長を遂げた日本や中国、韓国といった近隣のアジア諸国が主要な輸出相手となり、現在では輸出総額の半分以上をアジア向けの資源や農産物が占めています。
問5	答え 3 低緯度の赤道付近に位置しながら標高が高いため、涼しい状態が一定して続くから。	南米アンデス山脈の高原地帯は赤道に近い低緯度にあるため、月ごとの平均気温の差である年較差が非常に小さくなります。しかし、標高が数千メートルに達するため、気温そのものは低地よりも大幅に低くなり、一年中涼しい高山気候特有のグラフ（横ばいの気温曲線）を示します。この気候を活かして、古くからインカ帝国のクスコのような都市が発展してきました。
問6	答え 4 六つの州の中で最も陸地面積が小さく、多くのサンゴ礁の島々や火山島が含まれる。	オセアニア州はオーストラリア大陸を除くと、その多くが太平洋に浮かぶ小さな島国で構成されています。標高の低いサンゴ礁の島々は地球温暖化による海面上昇の影響を非常に受けやすく、ツバルやキリバスといった国々では国際的な対策が急務となっています。他の選択肢については、人口が最も多いのはアジア州、地中海に面しているのはヨーロッパ州やアフリカ州、アマゾン川があるのは南アメリカ州の説明です。
問7	答え 4 広大な土地に大型の農業機械を導入することで、大規模な生産体制を確立したため	ブラジルは大豆生産は、広大な国土と機械化された大規模農場（ファゼンダなど）が組み合わさることで急速に発展しました。これにより、手作業や小規模経営では不可能な低コストでの大量生産が実現し、アメリカ合衆国と並ぶ世界最大級の大豆供給国となりました。
問8	答え 4 さとうきび	ブラジルでは、世界的な環境意識の高まりや石油価格の変動を背景に、石油代替エネルギーとしてのバイオエタノールの需要が急速に高まりました。その主原料であるさとうきびは、2000年代後半に生産量が飛躍的に増加し、ブラジルの農業およびエネルギー政策における最重要作物の一つとなっています。
問9	答え 4 ブラジリア	ブラジルでは長らく沿岸部のリオデジャネイロに首都が置かれていましたが、国土の均衡ある発展を目指して内陸部への遷都が行われました。新首都としてゼロから建設されたこの都市は、飛行機の形をした独特の都市計画や近代建築が評価され、歴史が新しい都市でありながら世界遺産にも登録されています。
問10	答え 3 牛の放牧と鉄鉱石	オーストラリアでは気候条件に合わせて農牧業が営まれています。北部から東部、内陸部にかけては降水量や地下水の状況に応じて牛の放牧が広く行われています。一方、地下資源については、大陸北西部のピルバラ地区などに鉄鉱石の大きな産地が集中しており、日本などへ大量に輸出されています。石炭は主に大陸東部で産出されるため、北西部に集中しているという記述とは一致しません。
問11	答え 4 モノカルチャー経済	「モノ」は「単一の」という意味を持ち、特定のわずかな種類の産品に依存する経済構造を指します。発展途上国に多く見られる形態ですが、国際価格の変動や天候による収穫量の増減が、国の経済全体を左右してしまうという不安定さを抱えています。プランテーションは、こうした輸出用作物を栽培する大規模農園そのものを指す用語です。
問12	答え 2 輸出総額が激増する中で、中国、日本、韓国といったアジア諸国が主要な輸出先としての地位を確立した。	チリは銅などの豊富な鉱産資源を背景に輸出額を大きく伸ばしました。1993年時点では上位5か国に入るアジアの国は日本だけでしたが、2017年には中国、日本、韓国の3か国が上位に入るようになり、アジア地域がチリにとって極めて重要な市場へと変貌を遂げたことを示しています。特に中国の存在感は圧倒的であり、かつて最大だったアメリカ合衆国の割合を大きく上回っています。
問13	答え 3 南アメリカ州	アマゾン川流域を抱える南アメリカ州では、開発によって広大な熱帯林が失われており、その森林面積の減少スピードは世界的に見ても非常に顕著です。背景には、世界的な牛肉需要の高まりに伴う放牧地の拡大や、飼料用・バイオ燃料用としての州内での大豆生産（穀物生産）の増加があります。このように、農業開発と環境保護の両立が大きな課題となっています。